

YORII 広報 よりの

安心と豊かさのある町



町広報誌を 振り返る

広報よりの800号まで町広報誌のバックナンバーを紹介するとともに町の歴史を振り返ります。今回は平成9年3月1日に発行された町広報誌の中から「鎌倉街道―上道―」の記事を紹介します。今年の大河ドラマで話題の「鎌倉」ですが、寄居町にも鎌倉時代の武蔵武士の息吹を伝える場所が残っています。



ピックアップニュース

鎌倉街道―上道―が『歴史の道百選』に選定

平成8年11月、文化庁では「歴史の道百選」として、全国78カ所の街道などを選定。埼玉県からはさいたま市の見沼通船堀と毛呂山町から寄居町までの鎌倉街道―上道―の2カ所が選ばれました。

鎌倉街道は、鎌倉幕府成立とともに整備されたとされる中世の道で、鎌倉から関東諸国や信濃・陸奥にまで通じた、兵員などの道といわれています。埼玉県内を通過する鎌倉街道は、県東部を縦断する中道と、東京都東村山市から県西部の丘陵地帯を抜けて、本庄市から群馬県藤岡市へ向かう上道が



発掘調査で見つかった道路遺構

主要な道として知られています。町内では、南から市野川を越えて、今市、塚田、赤浜と通過して荒川を渡ります。普光寺周辺では幅数メートルの掘割状の遺構を見ることが出来ます。

町教育委員会では平成8年、この一部を発掘調査して、明瞭な道路遺構を確認しました。幅約6メートルで最深部が50センチメートルほどの直線的な道で、馬や人が踏み締めて堅くなった部分もはっきりと分かります。

発掘調査では、古銭や陶磁器、鎌倉時代の「文永4年(1267)」銘の板碑などが出土していますので、発見された道路



普光寺わきの鎌倉街道

遺構が鎌倉時代に使用されていた可能性があります。道路は改修や補修を繰り返しながら維持され「いざ鎌倉！」のときには各地の武士が利用したものと考えられています。

寄居町の主なできごと(平成9年)

- 3月 保健福祉総合センター(ユウネス)完成
- 7月 鉢形城跡保存整備事業開始
- 8月 さいたま川の博物館開館
- 10月 農業ふれあいセンター完成